砺波カイニョ倶楽部会報

平成19年12月発行 発行者 砺波カイニョ倶楽部 代表幹事 柏樹直樹 事務局 富山県砺波市表町14-10 電話 0763-33-6588 天野一男建築工房内

厚い境内林の落葉掃除

ーホウキ・クマデの目にありがとう一

11月17日(土)午前、カイニョ倶楽部の例会として万福寺(砺波市太田)の境内掃除を行った。境内へは晩秋の陽が差し込むものの、はじめのうちは寒くて手がかじかむほどだったが、作業が進むうちに次第にほぐれ、体の動きにもリズムが出てきた。

四方にスギ・ケヤキ・イチョウ等の大木が成立し、それを支える中低木も多く、それが一部生垣となっている。すっぽり本堂や観音堂、鐘楼がつつまれていて、平野の寺院では厚みのある部類だ。砺波市内 80 寺院中 31%が「樹木が少ない」(10 年前の調査結果)。参加した 15 名の会員が黙々と庭から庫裏横の落葉をはきあつめ、前の田にムシロモッコや箕で運び燃やした。約 2 時間で作業を終えた。境内には無数のタケボウキやクマデの跡がさわやかな満足感となり、それぞれの心に残った。嵐の中でこわばっていた朝の顔もすっかりなごみ、おだやかな笑顔に変わっていた。

この活動を北日本新聞と富山新聞が次日に報道した。また、この取材で受けとめた感想を「記者ノート」のコーナーに温かい内容で紹介された。

下記の写真は、「富山新聞」から頂きました。



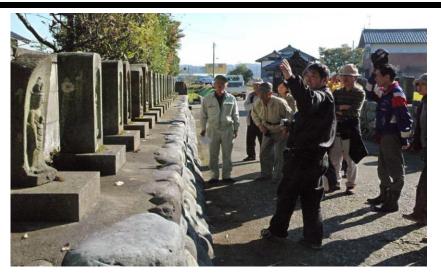
庫裏横の掃除



ムシロモッコで落ち葉運び



境内・前庭の落ち葉掃除



参道の西国三十三観音を



門前の地蔵堂で

見ひじ張らず、カイニョと 個代表幹事は「倶楽部では つ。市街地の商業集積や住人で清掃や植樹に取り組 ときのことだ。 地の造成が進み、市内の 敷林は減少している。柏 てア清掃を訪わ 行ったボラン 敷林を見学し イニョ倶楽部 める人たちは生き生き 和やかにカイニョ保全 数林の保全を目指す砺 ボランティ 太田の万万 和気あいあいとして解け ての研究の一環で参加 は学生時代、散居村に それがきっかけで、 らえるし、 を出す。「但現在も時折、 ついて教えても な木や文化財に 出ではさまざま

北日本新聞記事平成19年11月28日付

カイニョ倶楽部・総務大臣表彰いただく一「身にあまる」

11月20日東京で「地方自治法施行60周年記念」式典が開催され、砺波カイニョ倶楽部が総務大臣表彰を受けました。当日の式典には、クラブからの参加はできませんでした。県内では、カイニョ倶楽部の他、南砺市、黒部市名水会、八代環境パトロール隊、森のゆめ市民大学実行委員会の各団体が表彰されました。この他、個人で4人が表彰されました。カイニョ倶楽部の活動は、僅か10年で特別に地方自治に貢献しているわけでもなく、大変、身にあまる重い表彰であり、恐縮の極みです。ただひたすらマイペースの活動でカイニョが喜んでくれるようなとりくみを続けることです。活動を支える全会員のみなさんへの褒美であり、期待だとして受けとめたいものです。役員会としてこのための特別の行事計画は立てないことにしました。なお、この受賞にあたって、河合常則参議院議員と中沖豊さんから祝電をいただきました。大変ありがとうございました。

* * * * * *

12月4日県庁で賞状と楯の伝達式があり、柏樹代表と出村幹事が出むきました。

その後、天野事務局長も加わり砺波市安念市長を訪ね、報告しました。

「臨時例会」開催のご案内

- □日時 12月18日(火)午後6時30分より
- □会場 散居村ミュージアム(交流館)にて
- □内容 意見交換会「今回の受賞を含め、これからの倶楽部活動」
- □会費 2000円
- □その他 少しの飲食の準備があります。

尚、缶ビールもございますので。お車はご遠慮下さい。